

問1 ある地域でゴミ捨て場のルールを決める際、話し合いにかかる時間や運営費をできるだけ抑えつつ、最大限の成果を得られるように工夫しました。このような「効率」の視点に基づいた判断として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 香川公立入試 類似）

1. 限られた時間や費用などの資源を、無駄なく有効に活用することを目指している。
2. 手続きが正しいか、特定の人に不当な不利益がないかを最も重視している。
3. 全員の意見が完全に一致するまで、時間をかけて議論を継続することを優先している。
4. 過去から受け継がれてきた慣習を、現状に合わせて変更せずに維持しようとしている。

問2 民主政治において、物事を決定する際に「多数決の原理」を用いる場合、あわせて「少数意見の尊重」が求められるのはなぜですか。その理由と仕組みについて説明したものととして、最も適切なものを選びなさい。（2016年 岡山公立入試 類似）

1. 多数派の意見が常に正しいとは限らないため、決定の前に反対意見を十分に聞き、できる限り反映させてより良い結論を目指す必要があるから
2. 多数決は時間がかかる非効率な方法であるため、少数の専門家だけで判断を下すことが民主主義の本来の姿であるから
3. 少数の反対意見がある場合には、多数決を行わずにすべての決定を保留し、全員が納得するまで何年も議論を続けなければならないから
4. 多数決で決定した後は、少数派の人々はその決定に従う義務がなくなるため、あらかじめ意見を聞いておく必要があるから

問3 共生社会の実現に向けた取り組みにおいて、バリアフリーの考え方に基づいた説明として正しいものはどれか。（2023年 福井公立入試 類似）

1. 特定の対象者が生活の中で直面する物理的な困難を、設備改修などによって後から除去すること
2. 障害の有無や年齢の差に関わらず、最初から誰もが同じように利用できるように設計すること
3. 社会的弱者が不利益を被らないよう、所得の再分配を行い経済的な格差を是正すること
4. 特定の施設だけでなく、社会全体の意識を変えるために教育課程にボランティア活動を組み込むこと

問4 出生率の低下によって子どもの数が減少し、それとともに総人口に占める65歳以上の人口の割合が高まる現象を何といいますか。正しい名称を選んでください。（2022年 兵庫公立入試 類似）

1. 少子高齢化
2. 過疎化
3. 情報化
4. ドーナツ化現象

問5 社会的な問題を解決し、より良い社会を築くための「決定のルール」や「考え方」について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2024年 兵庫公立入試 類似）

1. 「公正」の考え方にに基づき、決定に参加する機会が平等に与えられているか、不当に不利益を受ける人がいないかを検討することが重要である。
2. 「効率」を最優先するため、意見の「対立」がある場合は話し合いを省略し、即座に「多数決」で決定することが最も望ましい。
3. 「合意」とは、特定の有力な人物がすべてを決定し、他の人々がその指示に無条件に従うことで社会の混乱を防ぐことを指す。
4. 「対立」が生じた際、お互いが自分の利益のみを主張し続け、一歩も譲らずに議論を平行線のまま終了させることが民主的な解決である。

問6 国が指定する「伝統的工芸品」は、100年以上の歴史があることや伝統的な原材料を使用すること、さらに主な工程が手作業であることなどの要件が定められています。こうした産業において、若手技術者のための学校設立や指導体制の整備といった「後継者の育成」が重要視されている理由として、最も適切なものはどれですか。（2020年 愛知公立入試 類似）

1. 長年培われてきた高度な生産技術を次世代へ伝承し、伝統ある産業を維持するため
2. 全ての製造工程を機械による自動化に切り替え、製品の大量生産を可能にするため
3. 生産拠点を海外の工場へ全面的に移転し、製品の価格競争力を高めるため
4. 伝統的な原材料の使用をやめ、最新の化学素材を用いた安価な製品を開発するため

問7 年齢、言語、性別、障害の有無にかかわらず、最初からすべての人が利用しやすいように製品や施設、環境などを設計する考え方を何といいますか。（2022年 岩手県公立入試 類似）

1. ユニバーサルデザイン
2. バリアフリー
3. ノーマライゼーション
4. インクルージョン

問8 1985年と2020年の日本の統計を比較すると、年齢層別の女性の就業率には大きな変化が見られます。1985年当時は、結婚や出産を機に離職する女性が多かったため、30代前後の数値が一時的に大きく低下する「M字型曲線」が顕著でした。2020年時点の女性の就業率の状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 栃木県公立入試 類似）

1. 子育て世代の就業が進んだことにより、30代前後の就業率の落ち込みが以前よりも浅くなり、グラフの形は台形に近づいている。
2. 1985年と比較して女性全体の就業率は大幅に低下しており、特に30代の層で離職する割合がさらに増加している。
3. 2020年の女性の就業率は、すべての年齢層において1985年当時の男性の就業率と同じ数値まで上昇している。
4. 少子高齢化の影響により、20代の就業率のみが極端に上昇し、40代以降の就業率は1985年よりも低下している。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 限られた時間や費用などの資源を、無駄なく有効に活用することを目指している。	社会的な合意形成においては、「効率」と「公正」という二つの視点が重要になります。効率の視点は、話し合いに使える時間や予算には限りがあるという現実に基づき、いかに無駄を省いて目的を達成するかを判断するために用いられます。一方で、手続きの正しさや不当な不利益がないかを問う視点は「公正」に該当します。
問2	答え 1 多数派の意見が常に正しいとは限らないため、決定の前に反対意見を十分に聞き、できる限り反映させてより良い結論を目指す必要があるから	民主主義における意思決定は、単に数が多い方の意見を採用すればよいというわけではありません。多数派が誤った判断をする可能性（多数者の専制）を考慮し、採決の前に少数派の意見を誠実に聞き、歩み寄りや修正を行う過程が不可欠です。これにより、組織全体の納得感を高め、より質の高い合意形成を図ることが可能になります。
問3	答え 1 特定の対象者が生活の中で直面する物理的な困難を、設備改修などによって後から除去すること	バリアフリーは、すでに存在する段差や狭い通路といった「障壁」に注目し、それを特定の対象者（車いす利用者や高齢者など）が使いやすいように手直しするという特徴があります。これに対し、最初からすべての人を対象に設計する考え方はユニバーサルデザインと呼ばれます。どちらも共生社会を目指す重要な概念ですが、その手法と対象範囲に違いがあります。
問4	答え 1 少子高齢化	出生率が低下して年少人口（0～14歳）が減少することを「少子化」、総人口に占める高齢者（65歳以上）の割合が高まることを「高齢化」と呼び、これらが同時に進行する状態を「少子高齢化」といいます。15～64歳の人口を「生産年齢人口」と呼びますが、この層が減少することで労働力不足などの深刻な影響が生じます。
問5	答え 1 「公正」の考え方にに基づき、決定に参加する機会が平等に与えられているか、不当に不利益を受ける人がいないかを検討することが重要である。	民主的な社会において「合意」を目指す過程では、単に多数の意見を採用するだけでなく、少数意見の尊重や、手続きの透明性を確保する「公正」の視点が不可欠です。効率性を求めて議論を切り捨てるのではなく、対立する利害を調整し、公正なルールに基づいて解決策を導き出すプロセスが求められます。
問6	答え 1 長年培われてきた高度な生産技術を次世代へ伝承し、伝統ある産業を維持するため	伝統的工芸品は、熟練した職人の手作業による高度な技術に支えられています。これらの技術は一朝一夕に習得できるものではなく、長期間の修業が必要となるため、意図的に後継者を育成しなければ技術の伝承が途絶えてしまいます。機械化や海外移転は伝統的工芸品の定義に反する場合が多く、技術の保存と継承こそが振興策の核心となります。
問7	答え 1 ユニバーサルデザイン	「すべての」「普遍的な」を意味する「ユニバーサル」という言葉の通り、特定の対象者に限定せず、最初からあらゆる人が快適に利用できる設計を目指す概念です。障害者や高齢者が直面する物理的・精神的な障壁（バリア）を後から取り除く「バリアフリー」の考え方をさらに広げたものとして、現代の公民社会において重要な役割を果たしています。
問8	答え 1 子育て世代の就業が進んだことにより、30代前後の就業率の落ち込みが以前よりも浅くなり、グラフの形は台形に近づいている。	かつての日本では、結婚・出産期にあたる30代前後の女性就業率が低下し、グラフがアルファベットの「M」のような形を描く傾向がありました。しかし、近年は育児休業制度の整備や保育施設の拡充、社会意識の変化などにより、子育てをしながら働き続ける女性が増えています。その結果、2020年時点では30代の落ち込みが解消されつつあり、欧米諸国で見られるような「台形（逆U字型）」に近い形へと変化しています。